

2017 **2.1**  
平成29年

# 議会から こんにちは

城東中学校の生徒と佐野小学校の児童が議会を傍聴しました。  
(詳細は14ページに掲載しています。)  
次回の定例会は2月17日開会予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

定例会時間  
45分17秒

さの  
市議会だより

[www.city.sano.lg.jp/gikai/](http://www.city.sano.lg.jp/gikai/)

平成28年12月定例会

■一般質問に19人が登壇

▽佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。

佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索







藤沼 一弘 議員

質問方式  
一括質問  
一括答弁

佐野市内の  
小中学校統合について

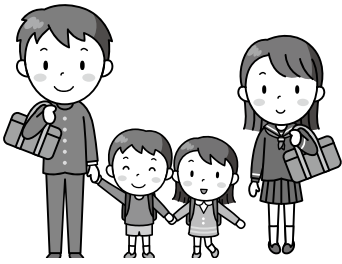
**Q** 田沼西及び葛生地区の施設一体型小中学校の開校に向けて、地域住民や保護者などのような合意形成を行ったのか、従来の併設型の小中学校ではなく、なぜ義務教育学校とするのか。また、統合時の学名校名、校歌、制服、通学等をどのように検討していくのか。

**A** 教育総務部長

平成25年7月から各中学校区で地域住民、保護者を対象とした懇談会を開催し、説明、ご意見を伺い、ご理解をいただき開校に向けての協議への参加など、ご協力をお願いしました。義務教育学校としては、効果的な小中一貫教育が可能になり、国・県からの支援が受けられるためです。統合時の校名、校歌、制服、通学等に関しては、地域やPTA代表者、学校と教育委員会による開校準備委員会において、検討を行い、その後、保護者からの意見を伺うなどやりとりを重ね決定します。

その他の質問

☆佐野市民病院の民営化について



菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答

高齢者が安心して  
元気に暮らせる  
街づくりについて

**Q** 「まちなかカフェ」を中心市街地へ開設することで、高齢化率の高い市街地に居住をされる高齢者を始め、多くの高齢者の外出が促され、中心市街地の活性化や、バス・電車などの公共交通の利用促進にも寄与すると思うが、どのように考えているのか。

**A** 健康医療部長

現在、開設している「いきいき元気館 たぬま」の認知症カフェは少しずつ周知が図られ参加者も増加しています。今後は、実績や開設による効果等を検証したうえで、認知症の方や家族の方だけでなく、さまざまな地域の方が自由に参加できる認知症カフェを中心市街地に設置することを検討します。それにより、市内居住の高齢者の外出が促進され、中心市街地の活性化及び公共交通機関の利用促進にもつながると思います。

その他の質問

☆防災士をリーダーとした地域コミュニティの醸成について



▲ いきいき元気館たぬま内にある認知症カフェ



山菅 直己 議員(政友みらい)

質問方式  
一括質問  
一括答弁

「ごみ屋敷」  
対策について

**Q** 悪臭や害虫の発生、ごみの飛散など周辺の環境に与える悪影響や火災防止の対策など市民からの苦情にどのように対応しているのか。  
抑止力も必要だと思うが、きれいなまちづくり推進条例を改正して行政代執行を可能にするなど考えられないか伺いたい。

**A** 市民生活部長

ごみ屋敷の原因者に対して、苦情があった場合にはその都度、必要に応じて訪問し、警察にも協力をいただき、ごみを片付けるよう繰り返し指導してきました。ご指摘の抑止力としての行政代執行を含めたごみ屋敷対策条例については、今後調査研究を行い、その結果、条例を制定する場合はきれいなまちづくり推進条例を改正して定めることも含め検討していきます。

その他の質問

☆市長の政治姿勢について  
☆空き家の適切な管理について





齋藤 弘 議員(政友みらい)

佐野市観光ボランティアガイドについて

**Q** 佐野観光ボランティアガイド協会は観光立市を掲げている本市にとって貴重な組織であると考えます。市では指導についての人的支援やユニホーム等の支給といった物的支援に力を入れるべきと思うが、どのように考えているのか。

**A** 観光スポーツ部長

人的支援は、観光ボランティアガイドの円滑な活動と組織体制の整備に対する支援が妥当範囲と考えており、協会自体は自立した運営、活動をすることが望ましい形と考えています。

しかし、収入源が乏しい中での運営です。物的支援は、活動に必要なユニホーム等の購入が可能となるよう、運営方法等の見直しを提案するなど、可能な限りの支援をしていきたいと考えています。

その他の質問  
☆山間地の文化遺産の活用について  
☆地域ブランド調査について



▲観光案内をする観光ボランティアガイド



青木 伸 議員(政風会)

佐野市民病院の民設民営について

**Q** 平成30年3月末をもって指定管理者青葉会との契約期間が満了になることを契機として、佐野市政策審議会に検討を依頼し、その諮問に対して佐野市民病院の経営形態についての答申を受けたと新聞等でも公表されているが、答申の内容をどのように受けとめ、どのような方向で対処していくのか。

**A** 市長

佐野市政策審議会には、今後の佐野市民病院の経営形態について審議し、答申をいただきたいと諮問をしました。

その結果は、市の方針についておおむね理解する旨の答申をいただきました。本市の考え方についてご理解をいただいたものと考えています。ついでには、説明会を開催し、民間譲渡後に医療サービスの低下を招かぬよう、十分留意して進めてまいりたいと考えています。

その他の質問  
☆佐野市吉水地区市道216号線、2045号線、2046号線及び2048号線一帯の、雨水冠水対策について  
☆「特別の教科、道徳」の実施について



▲佐野市民病院



亀山 春夫 議員(政友みらい)

地域農業・農村の活性化について

**Q** 地域農業の将来に関するアンケート調査が実施されたが、地域農業の問題解決にどのようなプランを考え取り組んでいるのか。

**A** 産業文化部長

アンケート調査や本市の10の地域ごとに集落座談会を開催して、人・農地プランを作成しました。この計画は、地域ごとに中心となる経営体、農地利用のあり方、農地中間管理機構の活用方針、農地の出し手となる方と農地、今後の地域農業のあり方を記載したもので、この計画を基に、地域の中心となる経営体に対して農地の集積を進めています。

また、人・農地プランを推進するため、地域を中心とする経営体を対象とした国庫補助事業の経営体育成事業があり、この事業の活用を希望する方に対して支援を行っています。

その他の質問  
☆観光農業公園グリーンファームについて







小暮 博志 議員(政友みらい)  
質問方式 一問一答  
待機児童の状況について

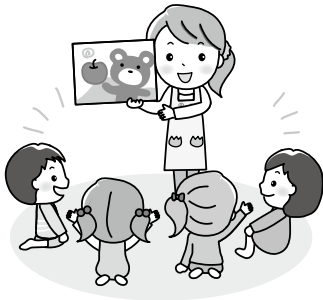
**Q** 平成28年度補正予算で保育所運営事業費が計上され、待機児童数の減少に努めていると思うが、計画と状況を伺いたい。

**A** こども福祉部長

待機児童対策は、まず保育士確保策として、臨時保育士の処遇を改善するため、10月より報酬を改正しました。改正前は報酬が月額で一律8,700円のところを、経験と職責を加味して9,000円から1万円の範囲に増額しました。

また、保育の枠を拡大するため、施設整備として10月より小規模保育事業の実施予定者を募集し、5つの事業者が来年4月の開園に向けて準備に入っています。これら5つの園が開園することにより、ゼロ歳児から2歳児の保育の枠が111人拡充される見込みです。

その他の質問  
☆馬門地区農地整備事業について  
☆防災無線放送について



田所 良夫 議員(新風)  
質問方式 一問一答  
全国※山城サミットについて

**Q** 平成29年秋に全国山城サミットが佐野市で開催することが決定した。より一層の郷土歴史認識を市内外にアピールする良い機会と思うが、歴史紹介を含め、全国山城サミット開催の記念手の発売をはいかがでしょうか。

**A** 観光スポーツ部長

記念切手の制作については、郵便切手を取り扱う地元佐野郵便局と販売方法や費用負担等について協議を申し入れたいと考えています。また、販路の確保や費用面では課題もあります。が、関係機関と協議を行いながら、情報を集め、記念切手作成の実現に向けて研究検討していきたいと考えています。

その他の質問  
☆郷土民話等の位置づけについて

※山城サミットとは・・・  
全国山城サミット連絡協議会に加盟する143城の山城を擁する93市町村が情報交換を通して親睦と交流を深め、山城の保存方法や観光資源としての山城を活かした地域の活性化を図り、潤いのある豊かなまちづくりを進めることを目的としています。



川嶋 嘉一 議員(政風会)  
質問方式 一括質問 一括答弁  
地方創生について

**Q** 誰よりも地元を愛しているパパたちによる地域創生プロジェクト、いわゆる「佐野パパプロジェクト」の概要、目的、期間、予算等を伺いたい。

**A** 総合政策部長

「佐野パパプロジェクト」は、地元を愛するパパ世代と言われる方たちが主体となり、行政では気づかない、これから育ちそうな地域の魅力を発見していただき、新たな地域産品等として発掘から開発、育成を行い、売り出していこうという事業です。地域活性化を地域ビジネスの創出と定義し、将来の人口流出の防止と労働人口の流入の基盤づくりを行うことを目的としています。期間は平成28年度から30年度までの3カ年を予定し、28年度の事業費は2,160万円で、そのうち2分の1は地方創生推進交付金を活用します。

その他の質問  
☆米山の整備について



▲佐野パパプロジェクト



**岡村 恵子** 議員(日本共産党議員団)  
 質問方式 一問一答  
**就学援助について**

**Q** 就学援助の基準を引き上げ、拡充すべきと思うかがか。また、新入学用品費の支給時期を4月前にすべきと考えるが、市の見解は。

**A** 教育総務部長

就学援助については平成27年度に基準を引き上げましたが、援助を必要とする保護者に援助が行き届くことが大切であると考えていますので、現状を踏まえ、子どもの貧困対策の観点からも援助が必要な家庭に援助ができるよう基準等の見直しを検討していきます。

また、新入学用品費は毎年4月に支給しており、県内でも早い時期の支給となっておりますが、全国的には入学期日前に支給している一部の市町もあるため、今後検討していきたいと考えています。

**その他の質問**

☆介護保険について  
 ☆障がい者支援の充実について



**横田 誠** 議員(新風)  
 質問方式 一問一答  
**中高生の地域の居場所「子ども中高生プラザ」について**

**Q** 大人目線ではなく、中高生の立場からみた公共施設における「地域の居場所」として活用する方策を考えるために、中高生の公共施設に対する利用実態と意識を明らかにすることが必要だと思ふ。

そこで、中高生対象の調査を実施することが望ましいと考えるかがか。

**A** こども福祉部長

中高生の居場所となり得る児童館、図書館、公民館等の公共施設の利用については、大人目線だけでなく、中高生のニーズ調査の必要性もあると考えていますので、調査方法も含めて今後検討していきます。

**その他の質問**

☆木育について



▲ 佐野市立図書館学習室



**金子 保利** 議員(政風会)  
 質問方式 一問一答  
**都市間競争に勝ち抜くための「中心市街地活性化対策」について**

**Q** JR両毛線の通勤・通学の時間帯に快速電車を走らせることにより、人の流れが変わる。JR佐野駅前のにぎわいを復活すべく、また市が都市間競争に勝ち抜くための手段のひとつとして取り組むべきと考えるが、快速電車の運行について市はどのような調査研究をしてきたのか。また、今後の考えは。

**A** 市民生活部長

快速電車の運行については調査研究を行った経緯は確認できませんでしたが、本市が参加する両毛線整備促進期成同盟会の要望事項のひとつとして、平成26年度より快速電車の運行等を要望しています。JR

**その他の質問**

☆都市間競争に勝ち抜くための「少子化対策」について  
 ☆都市間競争に勝ち抜くための「雇用対策」について  
 ☆都市間競争に勝ち抜くための「住んでよい、訪れてよい街づくり」の施策について  
 ☆都市間競争に勝ち抜くための「宝」となり得るものについて

東日本からは、停車・通過駅等の課題があり、難しいとの回答を得ていますが、実現して利用者が増えることになれば、市街地の活性化に一定の効果があるものと思われまますので、同盟会に参加する他市との連携を図りながら対応していきます。





**本郷 淳一** 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答

シティプロモーションの推進について

**Q** 本市はさのまるの活用が主力となり、シティプロモーションの本来の目的が薄れているように感じる。本来の佐野市の売り込みを図るため、プロデューサーとしての役割と権限、予算措置等を充実させ、シティプロモーションのさらなる推進強化を図る必要があると考えるがどうか。

**A** 総合政策部長

本市ではシティプロモーション推進基本計画に基づき、さのまるを活用し、本市の魅力を発信していますが、さのまるの認知度を各事業と結びつけた活用ができておらず、本市の認知度の向上に結びついていないのが現状です。今後は、庁内で組織するシティプロモーション推進本部会議の機能を強化するとともに、市民・団体等との連携を進め、民間の意見やノウハウ等も参考にし、推進強化を図っていききたいと考えています。

その他の質問  
☆クリケットのまちづくりについて



▲ゆるキャラ@グランプリ優勝時のさのまる



**木村 久雄** 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答

子育て支援について

**Q** 父母と祖父母との間の子育てに関するジエネレーションギャップの問題を解消し、祖父母との良好な関係を築きながら子育てを進めていくために、「子育て・孫育て応援手帳」のような、現在とかがつての子供の違いをわかりやすく解説したものを市として配布できないか伺いたい。

**A** こども福祉部長

本市では、子育てに関する情報を一冊にまとめた子育て情報誌を毎年3,000部ほど発行し、母子手帳の交付やお問い合わせの際などに配布しています。ご提案いただいた内容は、この情報誌に掲載する形で市民の皆様にご案内できるように検討したいと考えています。

その他の質問  
☆チーム学校について  
☆受動喫煙防止対策について



▶子育て情報誌



**大川 圭吾** 議員(政友みらい)

質問方式  
一問一答

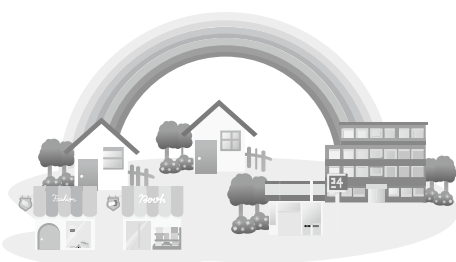
第2次佐野市総合計画について

**Q** 第2次佐野市総合計画に織り込むことを予定している新たな目玉になるような施策はあるか。

**A** 総合政策部長

平成29年4月の市長選挙後の市長のマニフェストを踏まえて具体的に計画を組み立てていくこととなりますが、平成29年度の行政経営方針に、本市の行政経営の大きな方向のひとつとして「コンパクトシティ構想の導入」を新たにお示ししました。急速な少子高齢化、人口減少時代の到来を見据えると、今後の行財政運営を安定的に継続し、市民生活の向上を目指すためには必要不可欠な施策であると考えており、目玉のひとつと考えています。

その他の質問  
☆自主防災組織について  
☆高齢者への虐待について  
☆身寄りの無い人が亡くなった場合の対応について  
☆佐野藍について





鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)  
 質問方式 一問一答  
**マイナンバー制度**  
 について

**Q** 現在の佐野市のマイナンバーカード申請件数と発行件数を伺いたい。

また、国は、このマイナンバー制度を構築するため約3,400億円と多額の費用をかけたが、佐野市では年間の管理運営費用はどのくらいになるのか伺いたい。

**A** 市民生活部長

平成28年10月31日現在、マイナンバーカードの申請件数は9,308件、地方公共団体情報システム機構より本市へ送付された件数は8,913件、本人に交付した件数は7,777件です。

**A** 行政経営部長

マイナンバー制度の導入による管理運営経費は、平成27年度ではシステム改修費が約4,815万円、中間サーバー利用経費が約709万円、カード発行業務等委任関連経費が約3,406万円、総額約8,930万円です。今後は、中間サーバー利用経費、カード発行業務等委任関連経費等が見込まれますが、国から示される内容に基づき対応していきます。

**その他の質問**

- ☆高齢者施策について
- ☆佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について



鈴木 靖宏 議員(自民佐野)  
 質問方式 一問一答  
**教育委員会**  
 について

**Q** 平成28年4月に教育センターに配置されたスクールソーシャルワーカーの活動状況について、その取り組みや課題について伺いたい。また、学校、児童生徒、家庭や地域が複雑化している状況で、スクールソーシャルワーカーの活動が必要不可欠になると考えるが、増員に向けた考え方を伺いたい。

**A** 教育長

平成28年4月に、社会福祉士の資格を有する本市の職員をスクールソーシャルワーカーとして教育センターに配置しました。その雇用形態は、全国でも珍しい常勤の正職員です。そのため、関係部局との密な連携、緊急時の迅速な対応が可能となりますので、各学校、関係機関等からも大変高い評価をいただいています。増員については、国から、31年度までに中学校区に配置するような方針が出されていますので、国、県の動向を見ながら研究を進めていきます。

**その他の質問**

- ☆公文書管理条例の制定について
- ☆交通指導員の現状と課題について



▲スクールソーシャルワーカーが常駐する佐野市教育センター(旧吾妻中学校)



飯田 昌弘 議員(自民佐野)  
 質問方式 一問一答  
**地方創生に向けた**  
**人口減少克服として**

**Q** 現時点での保留児童数と、平成29年度に拡充されるであろう111名の保育枠を勘案した推定の受入枠と受入数、平成29年度保留児童数を伺いたい。また、平成30年度の保留児童数の予測も伺いたい。

**A** こども福祉部長

平成28年12月1日現在、入園希望で保留になっている児童数は171人で、そのうち0歳児から2歳児までが161人です。次に、29年度の0歳から2歳児までの受入枠は891人で、入園希望者は930人となっております。差引39人の保留児童が見込まれます。この対策は、公立保育所で保育士を増員し受け入れ枠を拡充することで解消できるよう努めます。また、平成30年度の入園申込者を29年度と同様の930人と仮定すると、保育士確保による増員及び認定こども園、小規模保育事業者の新設・増設により受入枠は958人となり保留児童が解消される見込みです。

**その他の質問**

- ☆時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る施策として
- ☆特色ある教育と心の教育の推進について
- ☆安全で安心して学べる教育環境の整備について







久保 貴洋 議員(自民佐野)

質問方式  
一問一答

観光政策について

**Q** 栃木デステイネーションキャンペーン(DC)とはどのようなものか。また、DCへの本市の取り組みと予想されるDC効果を含めた今後の計画を伺いたい。

**A** 観光スポーツ部長

デステイネーション(目的地)とキャンペーン(宣伝活動)を組み合わせた合成語で、英語の頭文字をとって通称「DC」といいます。JR東日本を含めたJRグループ6社が目的地を決めて、地方公共団体、観光事業者、住民、企業と協働で取り組む国内最大規模の観光宣伝活動であり、栃木県が平成30年に指定され、前後3か年で実施されます。

本市では9月28日に、観光事業者に説明会を開催し、DCの概要、栃木県の動向、取り組み方法について周知しました。今後は早急に市の実行委員会を組織し、平成29年春のプレDCに向けて準備します。予想される効果は、近県ですと平成23年の群馬DCの観光入り込み客数が106.9%に増加した状況です。

その他の質問

☆空き家対策について  
☆佐野田沼インター産業団地について



平成28年第4回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

12月定例会は12月2日(金)から12月16日(金)までの15日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議員案第2号	佐野市議会委員会条例の改正について(詳細は10ページに記載)	原案可決	全会一致
報告 第17号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第18号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第19号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第20号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第21号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第22号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第23号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告 第24号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
議案 第107号	佐野市議会議員及び佐野市長の選挙における選挙運動の公費負担条例の改正について(公職選挙法施行令の改正に伴い、佐野市議会議員及び佐野市長の選挙における選挙運動に係る公費負担額を改めるための改正)	原案可決	全会一致
議案 第108号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について(市長、副市長及び議会の議員の期末手当の額を改めるための改正)	原案可決	賛成多数
議案 第109号	佐野市職員の給与に関する条例等の改正について(給料表、扶養手当、住居手当、勤勉手当等を改めるための改正)	原案可決	全会一致
議案 第110号	佐野市税条例等の改正について(地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正)	原案可決	賛成多数
議案 第111号	佐野市国民健康保険税条例の改正について(国民健康保険税の課税限度額を改め、及び所得税法等の改正に伴い所要の規定を整備するための改正)	原案可決	賛成多数
議案 第112号	佐野市立学校設置条例の改正について(佐野市立船津川小学校を佐野市立植野小学校に統合するための改正)	原案可決	全会一致
議案 第113号	佐野市デイサービスセンター条例の改正について(佐野市植野デイサービスセンターを廃止するための改正)	原案可決	全会一致
議案 第114号	佐野市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について(農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるための制定)	原案可決	賛成多数
議案 第115号	佐野市駐車場条例の改正について(佐野市高砂町駐車場を廃止するための改正)	原案可決	全会一致
議案 第116号	佐野市水道事業の設置等に関する条例及び佐野市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の改正について(簡易水道事業を水道事業に統合するための改正)	原案可決	全会一致





# 議員案の結果

## 議員案第2号

### 佐野市議会委員会条例の改正について

#### ▼提出者

井川克彦議員

#### ▼賛成者

田所良夫議員、岡村恵子議員、小暮博志議員、鈴木靖宏議員、青木 伸議員、菅原 達議員

#### ▼条例改正の趣旨

議員定数を24人に改めたことにより、常任委員会の委員の定数を改めるため条例を改正するもの。

#### ▼審査結果

本案は平成28年12月定例会本会議において、採決の結果、議員全員の賛成により可決されました。

# 陳情の審査結果

## 陳情第2号

### 人工芝グラウンドに関する陳情

#### ▼提出者

佐野市サッカー協会 会長 田口英夫 外4,091名

#### ▼陳情の趣旨

佐野市運動公園運動広場に整備予定の人工芝グラウンドを日本サッカー協会公認グラウンド等にする整備に対する支援を求めるもの。

#### ▼審査結果

本陳情は平成28年12月定例会において経済文教常任委員会に付託され、審査の結果、採択されました。本会議においても、同委員会の決定に多数の議員が賛成し採択されました。



## 2月定例会日程(案)

平成29年第1回定例会の日程は、2月10日(金)の議会運営委員会で内定し、2月17日(金)の本会議で決定します。

※日程は変更になることがあります。

月	日	開会時間	会議内容
2月	8日(水)	—	請願、陳情提出期限(17:00)
	9日(木)	—	
	10日(金)	10:00	議会運営委員会
	11日(土)	—	
	12日(日)	—	
	13日(月)	—	
	14日(火)	—	
	15日(水)	—	
	16日(木)	—	
	17日(金)	10:00	本会議(予算大綱説明、議案説明)
	18日(土)	—	休会
	19日(日)	—	休会
	20日(月)	—	休会
	21日(火)	10:00	本会議(予算大綱質疑、議案質疑)
22日(水)	10:00	本会議(一般質問)	
23日(木)	10:00	本会議(一般質問)	
24日(金)	10:00	本会議(一般質問)	

月	日	開会時間	会議内容
2月	25日(土)	—	休会
	26日(日)	—	休会
	27日(月)	9:00	建設常任委員会
		13:30	厚生常任委員会
	28日(火)	9:00	経済文教常任委員会
13:30		総務常任委員会	
3月	1日(水)	—	休会
	2日(木)	9:00	予算審査特別委員会
	3日(金)	9:00	予算審査特別委員会
	4日(土)	—	休会
	5日(日)	—	休会
	6日(月)	9:00	予算審査特別委員会
	7日(火)	9:00	予算審査特別委員会
	8日(水)	—	休会
	9日(木)	—	休会
	10日(金)	10:00	本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)



# 政務活動費の収支報告書 を 佐野市議会ホームページで公開します

平成28年度分の政務活動費から、収支報告書及び領収書、行政視察報告書などの収支報告書に添付された書類の全てを佐野市議会ホームページで公開します。公開の時期は平成29年6月以降を予定しています。

## 政務活動費って何？

議員の研究研修、調査、広報、その他調査研究活動に役立てるため必要な経費の一部として、議員に対し市が交付する交付金のことです。議員1人に対し年額30万円(1カ月当たり2万5千円)が交付されます。交付を受けた議員は、当該年度分の収支報告書を翌年の4月末日までに提出し、残余がある場合はその額を返還することになっています。

佐野市議会では、議会事務局において収支報告書の内容や添付書類の確認などを行い、適正な運用に努めています。



## 現在の公開状況は？

平成25～27年度分の収支状況一覧を佐野市議会ホームページで公開しています。(http://www.city.sano.lg.jp/gikai/08/shuushi.html)



平成25～27年度分の収支報告書及びその添付書類は、閲覧申請書を提出することにより、その場で閲覧することができます。写しの交付が必要な場合は、情報公開請求書を提出していただきます。

平成22～24年度分の収支報告書及びその添付書類の閲覧及び写しの交付は、情報公開請求書を提出していただき、公開の決定をした後、お越しいただくことになります。

閲覧申請書及び情報公開請求書の提出先並びに閲覧場所は、議会事務局(市役所7階)です。



## 個人情報の取り扱い？

佐野市議会では、収支報告書及びその添付書類について、口座番号、個人印及び法人の代表者印の押印跡などの佐野市情報公開条例に規定されている非公開情報のみを黒塗りとし、それ以外は公開します。



# 行政視察報告

行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

## 総務常任委員会

11月14日(月)～15日(火)

### 11月14日 大分県大分市 「大分市議会議員政策研究会について」

政策課題を議員全員による全体会議で募集し、会派代表者による役員会議で決定します。更に市民との意見交換やパブリックコメントを行い、関係団体等の意見を参考に検討を行います。これまで、議会基本条例や子ども条例の策定、災害対策に関する提言などを行っていました。

#### 委員の所見

今回の研修を通して議会報告会の重要性、大切さを再度感じることができました。また、議員提案による条例制定の重要性を再認識し、市民や学識経験者との意見交換を行ったうえで、市民サービスに繋がる条例を議員から提案していく必要性を感じました。

### 11月15日 宮崎県宮崎市 「将来世代に重荷を背負わせない公共施設経営について」

公共施設基本方針に基づき、「総量の最適化」「質の向上」を経



営方針として、施設評価、指定管理料の審査、市民アンケートによる合意形成を実施し、「公共施設経営」に取り組んでいました。また、南海トラフ巨大地震対策も踏まえた複合型防災施設を整備していました。

#### 委員の所見

公共施設経営は他市の問題でなく、本市でも重要な問題です。今回の研修を通し、公共施設は自然災害対策への大きな役割が求められることを感じました。また、本市も公共施設経営において、市議会、行政、市民が一体となって取り組んでいく最重要課題であると認識しました。

## 厚生常任委員会

10月26日(水)～27日(木)

### 10月26日 岐阜県美濃市 「木育事業について」

市民や子供に「木への親しみ」や「木の文化への理解」を深めることを目的として、一歳児に木製玩具を贈呈したり、保育園舎を木造にするなど、日常生活や文化の中に木を取り入れることにより、情操も培われるとのことから、木育事業を推進していました。

#### 委員の所見

美濃市は里山に囲まれ、80%が森林であり、「木」が身近にあることは佐野市と酷似しています。従って「楽しく子供を産み育てることができる環境づくり」に重点を置く「木育事業」については、強く共感することが多くあり、佐野市での事業への取り組みにとっても参考になりました。

### 10月27日 三重県伊勢市 「おかげバスデマンドについて」

平成19年から公共交通サービス「おかげバス」の地域格差の是正や交通弱者の利便性を図るために、コ



ミュニティバスの運行を開始しました。しかし、一便に一人も乗っていない「空バス」状態もあることから、路線によってはタクシー車両による予約制の運行を併設していました。

#### 委員の所見

利用者の乗降にむらがある路線は、タクシー会社と提携し、予約制のデマンドバスで対応しています。バスの購入費用、維持管理費、人件費等の抑制対策として有効な手段と思えます。利用者の利便性を含め、佐野市も今後の動向を見ながら検討するうえで参考になりました。



# 各常任委員会

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への

## 経済文教常任委員会

10月12日(水)～13日(木)

10月12日 兵庫県篠山市  
「篠山チルドレンズミュージアムについて」

統合により廃校となった中学校を活用し、創造性豊かな人づくりと子供たちの「生きる力」を育む拠点づくりを目指すミュージアムで、地域住民に活用してもらええるプログラムや多彩なイベントやワークショップを開催し、周辺からも多く利用されていました。

### 委員の所見

「観光客を増やし収益を得る」といった直近の成果に目を奪われることなく、子供たちの「生きる力」を育むといった「教育」の視点と、他よりも優れた「子育て環境」を提供するといった「市内への移住促進」の視点を持ち、将来に目を向けていると感じました。

10月13日 大阪府守口市  
「施設一体型小中一貫校について」

1年生から9年生まで子ども達の発達段階に応じた指導を行い、豊かな学びと心を耕すた

## 建設常任委員会

10月26日(水)～27日(木)

10月26日 福岡県北九州市  
「道路サポーター制度について」

市民が行う道路清掃や花植え等のボランティア活動を支援すること、道路への愛着、環境美化への意識高揚と裾野を拡大し、市民と行政が協働で美しいまちづくりを目指しており、平成17年10月に12団体が登録し53人でスタートしました。

### 委員の所見

市民が自主的に団体(10人以上)を作り、自分たちの毎日使う道路の清掃、点検、異常の通報及び花植え等の景観美化活動は本当に素晴らしいことだと感じました。そして、さらに感心することが、今でも団体数が増加傾向にあるということです。現在222団体、約12,300人が登録されています。

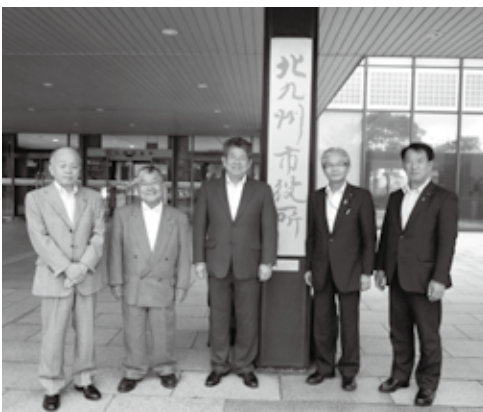
10月27日 広島県福山市  
「6/23大雨による堤防決壊の対応と今後の治水対策について」

6月23日の大雨により、市内の猪之子川の堤防が約20mにわたり決壊し、福山など4河川

で水があふれました。この大雨で床上浸水84件、床下浸水203件、被害額は土木施設約15億円、農地等約6億円、その他を含め総額約23億円でした。

### 委員の所見

大雨は観測史上2番目に多い148.5mmでした。しかし、市からの気象情報の適切な注意・警戒・非常体制等の市民への呼びかけで早期の避難体制がとることができました。このことを見ると日頃からの情報体制をしっかりと確立し、状況に応じた確かな警報等を市民に伝えることが大変重要であると強く感じました。



# 佐野市の小中学生が市議会（一般質問）を見学・傍聴しました。



学校における社会科教育の二環として、市議会や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、12月7日に城東中学校の生徒（25名）が、12月8日に佐野小学校の児童（62名）が市議会を傍聴しました。7日と8日は一般質問が行われており、議員が市政について質問し、市の執行部が答弁するやりとりを真剣に聞いていました。

## 傍聴者の声

「はじめの市議会見学」



佐野市立佐野小学校6年 白居かなさん

市議会の様子を見学し、佐野市の議員さんたちは、佐野市のためにがんばってくださっているのだなとあらためて感じました。話している内容に「小・中学校」という言葉が何度も出てきました。私たちにすることも真剣に話し合われている姿を見て、とてもうれしかったです。別室で市議会の説明を聞いていて、市民のくらしや市の発展のことを一番に考えてくださっていて、ありがたく感じました。これから佐野市のためにいろいろなことを話合ってくださいなと思います。今回は、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

「市議会の傍聴を通して思ったこと」



佐野市立城東中学校3年 京谷美樹さん

私は今まで、市議会は「自分に理解できないような内容について話し合い、難しい言葉が飛び交っている場所」と想像していました。ところが、実際に傍聴してみると、大雨時における市内の道路の冠水問題や、小中学校の道徳教育等、中学生である私にも理解できる事柄について話し合い、中には聞きながら自分なりの考えをもてるものもありました。私たちの佐野市をより良くしていこうとする、大切な市議会を傍聴できてよかったです。さらによく知るために、今後はテレビ放送等を通じて市議会を視聴していきたいです。

## 新年号の案内

議会だより新春号を佐野市議会ホームページに掲載しています。



議会だより新春号では全市議会議員の新年の抱負を掲載しており、佐野市議会ホームページで配信しております。ぜひご覧ください。

<http://www.city.sano.lg.jp/gikai>

## あとかぎ

長かった厳しい冬も終わりを告げ、待ちわびた春もすぐそこに来ています。蠟梅の花の便りも数多く聞かれる季節となりました。ここに昨年末に行われた12月定例会の内容を報告させていただきます。

いよいよ今月より平成29年度の予算を審議する2月定例会が開かれます。その中で予算審査特別委員会も開かれ、一年間の予算についてあらゆる角度から質疑が行われます。ぜひ傍聴に来ていただき、議員と執行部の緊張あるやりとりを見ていただければ幸いです。

（大川圭吾）

### 【編集委員会】

- 委員長 井川 克彦
- 委員 本郷 淳一
- 委員 小暮 博志
- 委員 大川 圭吾
- 委員 鈴木 靖宏

### 【議会事務局】

TEL 20-3036  
FAX 21-4411